ふれあい昆虫館の平成26年度管理状況

施設所管課	観光戦略推進部観光振興課
指定管理者	(一財) 石川県県民ふれあい公社 理事長 北村 修
指定期間	平成 24 年 4 月 1 日~平成 29 年 3 月 31 日

(1) 管理業務の実施状況

(1) 官垤未務の夫肥仏	
業務内容	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の	施設の使用受付、案内等の接遇向上
提供に関する業務	・職員間の意見交換等を行うことで、情報を共有するととも
	に展示内容の説明技術の向上を図るなどして、接遇向上に
	努めた。
	利用者の苦情・意見の把握・対応
	・来館者に対し、積極的に展示説明を行うなどしてコミュニ
	ケーションを図り、利用者ニーズを把握。
	・HPで、お問い合せアドレスを掲載し、昆虫館や昆虫につ
	いての意見・質問を聴取し、速やかに返答するとともに、
	利用者ニーズに添った運営を実施。
	・要望及び苦情に対しては、誠意をもって対応し、速やかに
	県に報告。
	その他特記事項
	・安全衛生会議を月1回実施し、事故・事件の未然防止と対
	処を強化(新規)
7.1 CD @ 10.314.1 - 00 1- 7.314	・従来から身障者などに車椅子、ベビーカーの無料貸出。
利用の促進に関する業	企画展、イベントの実施
務	・博物館相当施設の指定を受け、輸入規制のある昆虫や希少
	昆虫を展示するなど工夫を凝らした企画展を開催
	・企画展(4 回)・イベントの実施(5 回)
	・昆虫教室・観察会(4月~3月、計11回)571人参加
	・館内うらがわ探検 1, 405人参加 ・クイズラリー (GW、夏休み、虫むしフェスタ) 38, 709人参加
	健民スポレクプラザ・ホテルのときんぷらとともに石川県、
	施設の情報提供、広報、広告 ・イベントチラシを関係機関に配付。 ・ホームページの掲載、メールマガジンの送付(月1回) ・広報誌むしかご通信の発行(年4回、延8000部) ・雑誌に広告を掲載 ・無料広報誌への情報提供(県・市広報及び地元情報誌) ・GW期間に新聞広告の実施 ・夏休み期間に新聞折込チラシ(鶴来周辺地区)を配付、新聞広告の実施 ・夏休み期間及び年末にのとじま水族館・いしかわ動物園・健民スポレクプラザ・ホテルのときんぷらとともに石川県、富山県呉西、福井県嶺北地区へ新聞折込の実施

	・テレビCMを放映
	周辺地域、関係機関との連携・協同の推進
	・周辺施設(パーク獅子吼、スカイ獅子吼、樹木公園)と
	各々のパンフレット等を交互に設置しPR
	・公社運営各施設にパンフレット等設置
使用の許可に関する業	使用許可、使用料の徴収、納入
務	・使用許可の件数((2)②参照)
	・使用料の収入実績((3)参照)
施設、設備及び備品の維	清掃:良好な環境及び美観の維持に心がけ、日常清掃を実施。
持管理及び修繕に関す	保守点検:施設の安全かつ良好な状態を維持する為、日常点検
る業務	実施。
	警備:開館時間内については、施設内を適宜巡回し、夜間につ
	いては、機械警備により異常発生時に速やかに対応できる体制
	を整えた。
	小規模修繕 駐車場・エレベーター・空調設備修繕等を実施し、
	施設の保全に努めた。
(その他知事が必要と	緊急時の対応・安全管理などの危機管理
認める業務)	・ふれあい昆虫館消防防災計画等による年1回の消防訓練を実
	施や事故発生等による緊急時対応について職員教育を実施。
	・個人情報の漏洩に注意し厳重に管理。

(2) 施設の利用状況

①利用指標

指標	H25年度 H		H 2 5 年度 │ H 2 6 年度 │ 前年度比		増減理由		
利用者数(人)	97, 963 人	99, 604 人	101. 7%	年間を通じて企画展を開催し特に10月、11月に開催した特別企画「こびとづかん展」が好評であったことや、例年実施している学校への誘客もあり、前年比で1.7%上回る結果となった。			

②使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
該当なし			

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由	
ふれあい昆虫館	19, 918, 530 円	2, 721, 680 円	身体障害者手帳等保有者	1, 697 人
			プレミアムパスポート提示者	2, 232 人
			県民育児の日	352 人
			学校等行事による申請者	6, 161 人

(千円)

収	入	支出			
管理料	108, 869	人件費	62, 226		
利用料収入	19, 918	光熱水費	15, 934		
		修繕費	4, 582		
		消耗品費	14, 468		
		委託料	16, 850		
		その他	15, 929		
合計	128, 787	合計	129, 989		
収支差額	Δ1, 202				

(5) その他、県が必要と認める事項(管理の実態を把握するために必要な事項)

①利用者の意見等

(ア) 利用者アンケート結果 (平成26年4月~平成27年3月実施 有効回答数832件)

項目	回答					
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い		
利用者サービス	72.5%	27.0%	0.5%	0.0%		
施設の維持管理	75.4%	23.8%	0.9%	0.0%		

(イ) 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
26年4月~	施設の方の虫の説明があればも	巡回中の職員が自ら展示昆虫を説明
27年3月	っと良い。	することとしている。
		「飼育員の気ままガイド」と「虫た
		ちのお食事タイム」で説明を行って
		いる。
		また、団体に対しては、事前予約と
		なるが要望のテーマにあわせて紹介
		することとしている。
	顕微鏡で見る、昆虫の標本がずれ	開館前及び営業時間内の巡回によ
	ていて見れない物がある。	り、施設の異常が無いか確認してい
	アリがケースの外に出ていた	る。異常を発見した場合は、即時に
	さわれる虫がちぎれかかってい	メンテナンスを行った。
	<i>t</i> -	
	昆虫とふれあう体験がしたい。体	7月上旬からは、「カブトの森」、
	験型スペースがふえるとよい。内	9月上旬からは「バッタ広場」を開
	容がマンネリ化しないように、レ	設し、自然環境に近い状態で生きた
	イアウトなどを工夫するとよい。	昆虫とのふれあいを予定している。
小さくてもいいので、チョウの園		また、内容がマンネリ化しないよう
のように、生きた昆虫を見れるよ		に季節毎に新たなテーマを設けて、
	うにして欲しい。自然環境に近い	企画展やイベント実施を予定してい
	形での展示を希望する。	る。

	空調が暑かった又は寒かった	2階「情報コーナー」が、特に暑い と苦情があったため、空調機を1台 増設した。平成27年度は、エント ランス広場も温度調整が難しいた め、1台増設する予定。
	展示方法に工夫を、子供のために台等を設置	小さなお子さんに対し、必要な箇所 に10台の台を設置した。

②事故、故障等

年月	内容	対応

(3	7	ത	曲	鉛	生	重	百	な	څل
١	. •	, (v	11117	∓IY		#	ᅩᄆ	'	•

(6) 評価結果

(6)評価結果		
評価項目	結果	所見(工夫、改善点)
①サービスの維持・向上	В	・アンケートやHPで昆虫館についての意見・質問を聴
や利用促進に向けた		取し、利用者ニーズに沿った運営を実施している。
取組みが行われてい		・ 職員が展示説明を行うなどして来館者とのコミュニ
るか。		ケーションを積極的に図り、利用者ニーズの把握に努
		めている。
		・イベントの告知について、ホームページやメールマガ
		ジンでの案内をはじめ、館内エントランスやエレベー
		タ内にチラシ等を掲示するほか、新聞広告、テレビ広
		告を行い、PR強化に努めている。
		・ 学習コーナー展示の改良など継続的なリニューアル
		を実施し、アンケート結果も極めて良好である。
②施設、設備及び備品の	В	・館内の清掃は常に行き届いており、入館者の評判は良い。
維持管理及び修繕が		・ボイラー、エレベーター、空調設備の修繕を行い、施設
適切に行われている		の良好な保全に努めており、アンケート結果も極めて良
か。		好である。
③適切に管理運営・危機	В	・「ふれあい昆虫館消防防災計画」等に基づき年1回の訓
管理を行う組織・体制		練を実施しているとともに、事故発生時の緊急対応につ
となっているか。		いて職員教育を実施している。
総合評価	В	・昆虫に対する専門的なノウハウを活かした様々な企画を
		実施するなど、施設の運営管理に創意工夫が認められ
		る。

〇評価基準

A (優): 仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている

B(良):仕様書等に定める水準を上回っている

C (可): 概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている

D (不可): 仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

〇総合評価

A (優):優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている

B(良):優れた管理運営がなされている C(可):適正な管理運営がなされている

D (不可): 改善が必要である

(7) 助言・指摘事項

特になし